

企業名：株式会社ジャノメ

レポート名：JANOME REPORT2024

1. この会社が目指す姿が理解できるか（将来）

理解できる。

ジャノメは創業 100 周年を 2021 年に迎え、次の 100 年を見据えて積極的な成長投資によって企業価値を向上させようとしている。このビジョンを実現するための第一ステップとして位置付けられている「Reborn2024」においては各事業において事業セグメント別戦略に取り組むとともに組織横断による 5 つのプロジェクトを推進することに取り組むとしている。各事業セグメント別の戦略の進捗・将来の展望についても詳細に記載されており、理解を深めるために十分な情報量が載せられているように感じる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか（現在）

理解できる

価値創造の源泉としてモノづくり文化を支える確かな技術力を挙げており、その高品質さを支える力として開発力・生産体制・良質な部品が挙げられており、理解できた。また、開発担当役員・生産担当役員によるメッセージも述べられており、十分に理解できるだけの情報がまとめられていたように感じる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか（変化）

ややできる

国内シェア NO.1 の家庭用ミシンメーカーであり、高品質さは消費者にも長年に渡って広く伝わっており、競争優位性を持つ高品質製品への信頼や技術力はある程度効果が長く認められるように感じる。一方で、売り上げの大部分が家庭用ミシン事業にあり、代替品の登場やビジネスモデルの変更など事業の構造的に競争優位性が長く続くかどうかについては疑問が残る部分もあり、持続性について理解はできるが、先が見えない部分もありややできるという評価が適切であるように感じた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

やや思わない

人的資本への取り組みとして人材育成方針や教育領域についての言及があった点ではジャノメの人的資本の価値向上のための大枠での取り組みを理解することができた。一方でそれぞれ方針、教育領域に対してどのような取り組みを行っているのか、それがどのような成果を出しているのかという細部についての言及がなかった。事業戦略等に比べると割かれているページが少なく、人的資本への重要性を認識しているのか疑問であった。

人材育成の方針だけではなく、先述されている会社が目指す姿・事業戦略と紐づけて会社の成長のためにはどのような人材が必要でどのような制度を整備する必要があるのかという部分について言及があればより想像しやすくなると感じた。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

・良かった点

① 事業別に戦略が述べられていた点

それぞれの事業担当者が各事業における事業方針と戦略・目標について述べられていた点がより企業の姿を理解することに役立った。特に家庭用機器事業は海外販売と国内販売のそれぞれに対して強みと課題が述べられており、わかりやすかった。

② 環境への取り組みやガバナンス面についての記述が多くあった点

サステナビリティについて多くのページを割いて解説されていてよかった。特に内外のサステナビリティに関連するものが企業経営に対してどのような影響が、どの項目に対してあるのかということについてまとめた表が見やすかった。また、取締役に対する選任方針や評価項目が開示されている点・社外取締役について特集されたページがある点もガバナンスの開示という点でよいと思った。

・改善点

① 財務・非財務の指標についての評価不足

財務・非財務データがまとめられていたが、それぞれの項目について会社としてどのような評価をしていて、それについて今後どのような取り組みを進めていくかという点についての情報が不足しているように感じた。

② 製品情報の不足

技術力・高品質が売りという風に述べられているにもかかわらず、他社の製品に比べてどのような点が優れているのか・どこが売りなのかという製品の情報が不足しているように感じた。